

東洋大学大学院

博士前期課程・博士後期課程

情報連携学研究科 情報連携学専攻

入学試験要項

2026年秋入学/2027年4月入学

- ・本要項には、出願から入学手続までの全ての事項を記載しています。出願前に必ず確認し、不備のないよう十分に注意してください。
- ・本要項の内容等に変更・訂正等が生じた場合および、自然災害等の特別措置が生じた場合は、本学 Web サイトに随時掲載します。
- ・大学院入試はインターネット出願で行います。本学 Web サイトから出願してください。出願登録は出願開始日の3日前から可能です。なお、合格後の各種登録手続および申請も、インターネットが利用できる環境が必要となります。

インターネット出願はこちらの URL から

▶▶▶ <https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/>



東洋大学

目 次

研究科・専攻・入学定員	1
入 試 日 程	1
アドミッションポリシー（入学者受入れ方針）について	2
出 願 資 格	2
出願資格の事前審査	3
一次試験免除のための予備審査【博士前期課程】	5
基礎科目試験免除のため予備審査【博士後期課程】	6
選考方法・試験時間・科目等	7
出 願 手 続	9
受験上の注意事項	12
試験当日、交通機関に乱れが生じている場合	13
学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項	13
受験生の皆さんへお願い	13
試験時間中の注意事項	13
一次試験結果発表	14
合格発表・入学手続	15
在 留 資 格	15
長期履修制度について	15
授業料後払い制度について	16
納 付 金	16
入学手続後の入学辞退と納付金の返還について	14
東洋大学教育ローン	17
情報連携学研究科情報連携学専攻入学試験結果	17

【個人情報の取り扱いについて】

出願に際して提出された住所、氏名、その他の個人情報は、①出願受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続、⑤入学前の事前教育等と、これらに付随する事項を目的として使用します。なお、これらの業務の一部を、東洋大学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、委託先に対して、提供して頂いた個人情報を提供することがあります。

【問い合わせ先】

他の研究科の入試要項、学内推薦・科目等履修生・大学院研究生・外国人研修生の出願についての入試要項は、別に作成しておりますので、本学Webサイトをご確認ください。各研究科の担当窓口は以下の通りです。

研究科	担当窓口	TEL
文学、社会学、法学、経営学、経済学、国際学、国際観光学	入試部入試課	03-3945-7272 mldaig-ad@toyo.jp
理工学、総合情報学	川越事務課	049-239-1313 mlkdaigakuin@toyo.jp
生命科学、食環境科学	朝霞事務課	048-468-6311 mllfinkyomu@toyo.jp
社会福祉学、ライフデザイン学、健康スポーツ科学	赤羽台事務課 (WELLB HUB-2)	03-5924-2164 mlags@toyo.jp

研究科・専攻・入学定員

研究科・専攻	課程	定員数	授業形態	長期履修	入学時期	修学 キャンパス
情報連携学 情報連携学専攻	博士前期	20名	昼間開講 セメスタ制	有(※)	2026年秋入学 2027年入学	赤羽台
	博士後期	4名	昼間開講 セメスタ制	—	2026年秋入学 2027年入学	赤羽台

※ 長期履修制度の申請方法等詳細は、本学 Web サイトでご確認ください。

<https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/long/>

入 試 日 程

2026年秋入学のための入試

◆2026年8月試験【博士前期課程・博士後期課程】

出願期間	試験日	合格発表日	手続期間
2026年 7月3日(金)～ 7月9日(木)	■一次試験 2026年8月29日(土)	2026年 9月3日(木)	2026年 9月3日(木)～9月8日(火)
	■二次試験 2026年8月30日(日)		

2027年4月入学のための入試

◆2026年8月試験【博士前期課程・博士後期課程】

出願期間	試験日	合格発表日	手続期間
2026年 7月3日(金)～ 7月9日(木)	■一次試験 2026年8月29日(土)	2026年 9月10日(木)	[第1次手続] 2026年 9月10日(木)～9月16日(水)
	■二次試験 2026年8月30日(日)		[第2次手続] 2027年 2月26日(金)～3月4日(木)

◆2027年2月試験【博士前期課程・博士後期課程】

出願期間	試験日	合格発表日	手続期間
2027年 1月5日(火)～ 1月13日(水)	■一次試験 2027年2月13日(土)	2027年 2月26日(金)	2027年 2月26日(金)～3月4日(木)
	■二次試験 2027年2月14日(日)		

※出願期間内に、出願書類の郵送（出願期間内消印有効）および入学検定料の支払いが必要です。

アドミッションポリシー（入学者受入れ方針）について

入学者に求める能力・資質・適性等

【博士前期課程】

入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。

- (1) 情報通信技術を中心として、さまざまな分野間の連携を具体化して社会を変えていくことに強い興味と高い意欲をもつ者。
- (2) 社会の多様性を尊重、理解し、多様な人びとと協働する中で、自分の独自性を発揮できる者。
- (3) 情報連携学分野の新たな開拓に向けて積極的に取り組む意欲のある者。
- (4) 情報連携学を発展させるために必要な基礎及び専門知識のある者。

【博士後期課程】

筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。

- (1) 情報連携学関連分野における高度な専門的知識と自立した研究立案および遂行能力を有する者
- (2) 情報連携学の発展に向けて、国際的な幅広い視野に基づき関連学術を修得し、独創性が高い研究活動を推進する意欲のある者

出 願 資 格

注意

本大学院では学則により二重学籍を禁止しています。他の大学又は大学院等（本学学部・大学院や日本語学校含む）に正規生として在籍されている場合、大学院入学までに卒業か修了、又は退学（出願資格に係る学位をすでに有する場合）する必要があります。

1. 博士前期課程

博士前期課程に出願することのできる者は、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 大学を卒業した者および卒業見込の者
- (2) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者および修了見込の者
- (3) 外国の大学において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および授与される見込の者
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者および修了見込の者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (6) 大学に 3 年以上在学した者で、本大学院において、所定の単位を優秀な成績をもって修得したものと認められた者
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査（出願資格の事前審査）により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時までに 22 歳に達した者（※）

※3 年制大学（専科大学）は学士に相当する学位が授与されないため、研究分野に関連する経歴（職歴、研究歴または学修歴）がない者は、個別の入学審査による事前審査の出願を認めません。

2. 博士後期課程

博士後期課程に出願することのできる者は、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者および授与される見込の者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および入学時までに授与される見込の者
- (3) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および入学時までに授与される見込の者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査（出願資格の事前審査）により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時までに 24 歳に達した者

3. 外国籍の方の出願資格

- ・海外の大学・大学院を卒業（見込）または修了（見込）の外国籍の志願者については、日本学生支援機構が実施している「日本留学試験（日本語）」（記述を除く）において 320 点以上 を取得していることが必要です。（詳細は P. 11 参照）
- ・在留資格が「出入国管理及び難民認定法」による「短期滞在」の者は、秋入学のための 8 月試験および、4 月入学のための 2 月入試を受験できません。

出願資格の事前審査

1. 事前審査とは

出願資格に該当しないが、研究分野に関連する経歴（職歴、研究歴または学修歴）を有する者が、東洋大学「大学院入学試験」の出願を希望する場合、事前に審査を受ける必要があります。この事前審査に合格した場合に限り、「大学院入試」の出願が認められます。

※博士前期課程の出願資格(1)～(6)、博士後期課程の出願資格(1)～(4)に該当する者は、事前審査を受ける必要はありません。

※3年制大学（専科大学）は学士に相当する学位が授与されないため、3年制大学卒業後、研究分野に関連する経歴（職歴、研究歴または学修歴）が本学入学時点で1年以上なければ、事前審査の出願はできません。

2. 審査書類の提出期限・提出方法

(1) 提出期限:

受験希望試験の実施	提出期限
2026年8月	2026年6月22日（月）消印有効
2027年2月	2026年12月7日（月）消印有効

(2) 提出方法:

- ・提出書類一式を、「書留・速達」にて郵送してください。
- ・封筒の表（おもて）面に「事前審査書類在中」と朱書きしてください。
- ・郵送以外の出願は受け付けません。

3. 提出書類

- ① 出願資格事前審査申請書【本学所定用紙】
- ② 履歴調書【本学所定用紙】
- ③ 入学後の研究計画書【本学所定用紙】
- ④ パーソナル・ステートメント【本学所定用紙】
- ⑤ 最終学歴の卒業証明書【コピー可】
- ⑥ 最終学歴の成績証明書【コピー可】
- ⑦ 取得学位が明記されている証明書【コピー可】 ※学位を取得している場合のみ提出。
- ⑧ 英語の学力を証明する書類（出願時点から3年以内のもの）【原本】

下記のいずれかの原本を提出してください。なお、提出された原本は試験当日に返却します。

- ・TOEICの公式スコア（公式認定証、デジタル公式認定証）
- ・TOEIC団体受験制度（TOEIC-IP）のスコアレポート（個人成績表）
- ・TOEFL iBTの受験者控えスコアレポート
- ・TOEFL団体向けテストプログラム（TOEFL ITP）のスコアレポート（受験者用控え）
- ・実用英語技能検定の合格証明書

※ ①～④は本学所定書式です。

本学 Web サイト (<https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/akabanedai/>) の「入試情報（赤羽台キャンパス/INIAD）」ページに掲載されている書式を使用してください。

書類の作成には時間がかかりますので、お早めにご確認ください。

※ ⑤～⑦の各証明書について

【中国の大学・大学院を卒業または修了した場合】

- ・CHSI（中国高等教育学生信息网）から申請し、CSSD（教育部学生服务与素质发展中心）から東洋大学赤羽台事務課（ml-iniad-em@toyo.jp）へ提出期限までにメールで届いたものに限り有効とします。
- ・大学・大学院発行の証明書やその翻訳は出願書類として認められません。
- ・提出物
 - 成績証明書
英語の「Verification Report of China Higher Education Student's Academic transcript」
 - 卒業証明書／修了証明書
英語の「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」
 - 学位証明書
英語の「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」

【海外（中国を除く）の大学・大学院を卒業または修了した場合】

- ・日本語または英語で作成された証明書を提出してください。
- ・日本語または英語以外の言語で作成された証明書を提出する場合は、証明書に下記①・②の書類を添付してください。

①日本語または英語による翻訳

②①の翻訳証明（大使館等公的機関による証明。または日本語学校・翻訳会社による学校・会社の公印が押された証明）

4. 審査結果の通知

事前審査の結果は、各入学試験の出願期間前に、履歴調書に記載されたメールアドレス宛に通知します。

5. 審査書類の郵送先・問い合わせ

〒115-8650 東京都北区赤羽台 1-7-11 東洋大学赤羽台事務課 (INIAD HUB-1)

TEL. 03-5924-2600 (代表) (受付時間 月～金曜日：10時～13時、14時～16時)

E-mail: ml-iniad-em@toyo.jp

事前審査で提出された書類・証明書は、「英語の学力を証明する書類」以外は返却いたしませんのでご注意ください。

一次試験免除のための予備審査【博士前期課程】

博士前期課程出願希望者のうち出願資格がある者（P.2 出願資格「1. 博士前期課程」の出願資格(1)～(5)に該当する者）は、情報連携学分野に関する十分な知識を持つことが予備審査で認められた場合、一次試験を免除することがあります。

ただし、審査の結果、十分な知識を持つものの、研究遂行能力の確認が必要と判断された場合には、一次試験のうち「基礎科目」のみが免除され、「専門科目」の受験が必要となります。

1. 審査項目

情報連携学（コンピュータ・システム、コンピュータ・ソフトウェア、ユーザ・エクスペリエンス、データサイエンス、ICT 社会応用、ビジネス構築、コミュニティ形成の各分野）に関連する、以下のいずれかの項目

- ①実務経験年数と実務内容が出願書類（パーソナル・ステートメント）に明確に記述されている場合
- ②合格率がおよそ2割以内の国家資格・公的資格などを取得している場合
- ③大学で情報連携学関連科目を履修し、かつ優秀な成績を修めた場合

2. 審査方法

書類審査

3. 審査書類の提出期限・提出方法・提出先

(1) 提出期限

受験希望試験の実施月	提出期限
2026年8月	2026年6月22日（月）消印有効
2027年2月	2026年12月7日（月）消印有効

(2) 提出方法

- ・提出書類一式を、「書留・速達」にて郵送してください。
- ・封筒の表（おもて）面に「一次試験免除のための予備審査書類在中」と朱書きしてください。
- ・郵送以外の出願は受け付けません

(3) 提出先

〒115-8650 東京都北区赤羽台 1-7-11 東洋大学赤羽台事務課(INIAD HUB-1)

4. 提出書類

- ① 一次試験免除のための予備審査申請書【**本学所定用紙**】
- ② 履歴調書【**本学所定用紙**】
- ③ 入学後の研究計画書【**本学所定用紙**】
- ④ パーソナル・ステートメント【**本学所定用紙**】
- ⑤ 最終出身大学（学部）の成績証明書【**最新の内容が記載された原本**】
- ⑥ 最終出身大学（学部）の卒業（見込）証明書【**最新の内容が記載された原本**】
- ⑦ 資格の取得を証明する書類【**資格を取得している場合のみ。コピー可**】

※ ①～④は本学所定書式です。

本学 Web サイト (<https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/akabanedai/>) の「入試情報（赤羽台キャンパス/INIAD）」ページに掲載されている書式を使用してください。

※ ⑤⑥については、外国の大学・大学院を卒業（見込）または修了（見込）した場合は、P.9～10の、

2. 出願書類「(6) 各種証明書」を必ず確認のうえ各証明書を準備してください。

※改姓している方は、戸籍抄本等、改姓が確認できる証明書を併せて提出してください。

5. 審査結果の通知

一次試験免除（基礎科目のみの免除を含む）の可否については、各入学試験の出願期間前に、履歴調書に記載されたメールアドレス宛に通知します。

6. 出願書類の提出

一次試験免除の可否にかかわらず、受験には全ての出願書類（P.9「2. 出願書類」参照）の提出が必要です。

ただし、「一次試験免除のための予備審査で提出した書類」を再提出する必要はありません。

なお予備審査の結果通知受領後、出願書類提出までに時間的余裕がないことに留意し、提出書類の準備を進めてください。

7. 一次試験免除の有効期間

一次試験免除が認められた場合、その回の入学試験に対してのみ有効であり、別の回の入学試験を受験する場合には、再度、一次試験免除のための予備審査申請が必要です。

基礎科目免除のための予備審査【博士後期課程】

博士後期課程出願希望者のうち出願資格がある者（P.2 出願資格「2. 博士後期課程」の出願資格(1)～(4)に該当する者）は、情報連携学分野に関する十分な知識を持つことが予備審査で認められた場合、一次試験のうち「基礎科目」を免除することがあります。

1. 審査項目

情報連携学（コンピュータ・システム、コンピュータ・ソフトウェア、ユーザ・エクスペリエンス、データサイエンス、ICT 社会応用、ビジネス構築、コミュニティ形成の各分野）に関連する、以下のいずれかの項目

- ①実務経験年数と実務内容が出願書類（パーソナル・ステートメント）に明確に記述されている場合
- ②合格率がおよそ2割以内の国家資格・公的資格などを取得している場合
- ③大学で情報連携学関連科目を履修し、かつ優秀な成績を修めた場合

2. 審査方法

書類審査

3. 審査書類の提出期限・提出方法・提出先

(1) 提出期限	受験希望試験の実施月	提出期限
	2026年8月	2026年6月22日（月）消印有効
	2027年2月	2026年12月7日（月）消印有効

(2) 提出方法

- ・提出書類一式を、「書留・速達」にて郵送してください。
- ・封筒の表（おもて）面に「基礎科目免除のための予備審査書類在中」と朱書きしてください。
- ・郵送以外の出願は受け付けません。

(3) 提出先

〒115-8650 東京都北区赤羽台 1-7-11 東洋大学赤羽台事務課 (INIAD HUB-1)

4. 提出書類

- ① 基礎科目免除のための予備審査申請書【本学所定用紙】
- ② 履歴調書【本学所定用紙】
- ③ 入学後の研究計画書【本学所定用紙】
- ④ パーソナル・ステートメント【本学所定用紙】
- ⑤ 最終出身大学院の成績証明書【最新の内容が記載された原本】
- ⑥ 最終出身大学院の修了（見込）証明書【最新の内容が記載された原本】
- ⑦ 資格の取得を証明する書類【資格を取得している場合のみ。コピー可】

※ ①～④は本学所定書式です。

本学 Web サイト (<https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/akabanedai/>) の「入試情報（赤羽台キャンパス/INIAD）」ページに掲載されている書式を使用してください。

※ ⑤⑥については、外国の大学・大学院を卒業（見込）または修了（見込）した場合は、P.9～10の、2. 出願書類「(6) 各種証明書」を必ず確認のうえ各証明書を準備してください。

※改姓している方は、戸籍抄本等、改姓が確認できる証明書を併せて提出してください。

5. 審査結果の通知

基礎科目免除の可否については、各入学試験の出願期間前に、履歴調書に記載されたメールアドレス宛に通知します。

6. 出願書類の提出

基礎科目免除の可否に関わらず、受験には全ての出願書類（P.9「2. 出願書類」参照）の提出が必要です。ただし、「基礎科目免除のための予備審査」で提出した書類を再提出する必要はありません。

なお、予備審査の結果通知受領後、出願書類提出までに時間的余裕がないことに留意し、提出書類の準備を進めてください。

7. 基礎科目免除の有効期間

基礎科目免除が認められた場合、その回の入学試験に対してのみ有効であり、別の回の入学試験を受験する場合には、再度、基礎科目免除のための予備審査申請が必要です。

選考方法・試験時間・科目等

【博士前期課程】

1. 選考方法

- 書類審査
- 基礎科目、専門科目（一次試験）
- プレゼンテーション、面接（二次試験）

2. 試験時間・科目等

◆一次試験（1日目）

時間	試験科目	配点
10:00～11:00	■専門科目 情報連携学に関連する、与えられたテーマに対する小論文	50点
11:30～12:30	■基礎科目 試験問題解答時に、以下から2科目を選択 * プログラミング * アルゴリズムとデータ構造 * データサイエンス基礎 * コンピュータ・ネットワーク * 数学（確率統計、線形代数、微積分） ※プログラミング言語としては、Pythonを想定した問題が出題されます。	100点 (50点×2科目)

◆二次試験（2日目）

時間	試験科目	配点
10:00～	■プレゼンテーション（10分）（注） 出願書類に記載した研究計画書に沿って実施 ■面接（15分） 研究計画に関する質疑を実施	100点

(注) プレゼンテーションは、パソコンを用い資料をプロジェクタに投影して行うことが可能です。パソコンは原則として受験者自身で持ち込み、HDMIで出力して使用してください。なお、本学で貸し出すことも可能ですが、動作環境の保証はいたしません。

【博士後期課程】

1. 選考方法

- 書類審査
- 基礎科目、小論文（一次試験）
- プレゼンテーション、面接（二次試験）

2. 試験時間・科目等

◆一次試験（1日目）

時間	試験科目	配点
10:00～11:00	■小論文	100点
11:30～12:30	■基礎科目 試験問題解答時に、以下から2科目を選択 * プログラミング * アルゴリズムとデータ構造 * データサイエンス基礎 * コンピュータ・ネットワーク * 数学（確率統計、線形代数、微積分） ※プログラミング言語としては、Pythonを想定した問題が出題されます。	100点 (50点×2科目)

◆二次試験（2日目）

時間	試験科目	配点
10:00～	■プレゼンテーション（15分）（注） 出願書類に記載した研究計画書に沿って実施 ■面接（15分） 研究計画に関する質疑を実施	100点

（注）プレゼンテーションは、パソコンを用い資料をプロジェクタに投影して行うことが可能です。パソコンは原則として受験者自身で持ち込み、HDMIで出力して使用してください。なお、本学で貸し出すことも可能ですが、動作環境の保証はいたしません。

出 願 手 続

- ・出願にあたっては、「インターネット（web）入力」、「出願書類の郵送」、「入学検定料の振込」の全ての手続きが必要となります。
- ・「インターネット（Web）入力」を行うには、本学 Web サイトより、【マイページ】利用者登録が必要です。インターネット環境を使用することが前提となります。
- ・「出願書類の郵送」、「入学検定料の振込（コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカード）」は日本国内からのみ可能です。海外在住の場合、日本国内に代理人を立てて、手続きを代行してもらってください。
- ・出願期間最終日のインターネット出願サイトでの申込は 23:00 までとなりますので、ご注意ください。

1. 出願前事前相談

博士前期課程・博士後期課程とも、研究分野のミスマッチを防ぐため、出願前に、希望指導教員にコンタクトを取り、研究指導について相談を行うことを強く推奨します。

希望指導教員に相談する際は、現在までの研究活動の内容（大学での専攻内容を含む）、および今後の研究計画を提示してください。希望指導教員への連絡方法が分からない、希望指導教員の決定が困難な場合等は、上記内容を赤羽台事務課（メールアドレス：ml-iniad-em@toyo.jp）までご連絡ください。

なお、対応には時間を要する場合がありますので、相談や連絡は、出願手続きに影響のないよう余裕をもって行ってください。

※東洋大学教員検索WEBサイト：<https://www.toyo.ac.jp/staff/giniad/>

2. 出願書類

出願書類のうち、本学所定用紙については、本学 Web サイト(<https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/akabanedai/>)の「入試情報（赤羽台キャンパス/INIAD）」ページに掲載されている書式を使用してください。

出願書類に不備がある場合には受理しません。なお、出願書類に確認事項が生じた際には、履歴調書に記載されたメールアドレス宛にご連絡します。

(1) 志願票①・②・③（③は外国籍の志願者のみ提出）

○「マイページ」にログインし、出願登録後、志願票①②③を印刷してください。入学検定料は、P. 10「3. 入学検定料および納入」を確認のうえ納入してください。

○氏名等の表記は、JIS の第 2 水準までとします。（例：高→高、崎→崎など）

○顔写真について

- ・志願票①・②の所定の場所に各 1 枚（合計 2 枚）を貼付してください。
- ・出願時点から 3 カ月以内に撮影したもので、たて 4 cm×よこ 3 cm の上半身（肩から上）・脱帽・正面・背景の無い光沢カラー写真（服装自由）。絹目仕上げ（つや消し）、白黒写真、スナップ写真は不可。
- ・受験時に眼鏡等を着用する者は、眼鏡等を着用して撮影したもの。
- ・裏面に、志願票に印字された整理番号、氏名を記入してください（裏面がシールの場合は記入不要）。
- ・写真は入学後、学生証用として大学院修了まで使用します。

(2) 履歴調書（本学所定用紙）

(3) 入学後の研究計画書（本学所定用紙）

(4) パーソナル・ステートメント（本学所定用紙）

- ・希望指導教員名は必ず記載してください。

(5) 推薦書（本学所定用紙）【博士後期課程志願者のみ】

- ・志願者は、所定用紙を準備し、氏名を記載してください。
- ・最終出身校の指導教員や勤務先の上司等、志願者の研究状況や人物をよく知る方が推薦書を作成し、推薦者が厳封した封筒を受け取ってください。
- ・受け取った推薦書入り封筒は、開封せずに提出してください。

(6) 各種証明書（いずれも最新の内容が記載された紙の原本）

①日本国内の大学・大学院を卒業（見込）または修了（見込）の場合

【博士前期課程志願者】

- ・最終出身大学学部の「成績証明書」および「卒業（見込）証明書」を提出してください。
- ・大学院を修了（見込）している場合は、大学院の「成績証明書」および「修了（見込）証明書」を併せて提出してください。

- ・ 出身大学より手配を行ってください。

【博士後期課程志願者】

- ・ 最終出身大学院の「成績証明書」および「修了（見込）証明書」を提出してください。
- ・ 出身大学院より手配を行ってください。

②中国の大学・大学院を卒業または修了した場合

【博士前期課程・博士後期課程志願者共通】

- ・ CHSI（中国高等教育学生信息网）から申請し、CSSD（教育部学生服务与素质发展中心）から東洋大学赤羽台事務課（ml-iniad-em@toyo.jp）へ出願期間中にメールでの提出に限り有効とします。
- ・ 大学・大学院発行の証明書やその翻訳は出願書類として認められません。
- ・ 提出物
 - 成績証明書
英語の「Verification Report of China Higher Education Student's Academic transcript」
 - 卒業証明書／修了証明書
英語の「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」
 - 学位証明書
英語の「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」

③「海外（中国を除く）の大学・大学院を卒業（見込）または修了（見込）の場合」および「中国の大学・大学院を卒業見込または修了見込の場合」

【博士前期課程志願者・博士後期課程志願者共通事項】

- ・ 各証明書は、日本語または英語で作成された原本を提出してください。
- ・ 日本語または英語以外の言語で作成された証明書を提出する場合は、証明書（原本）に下記①・②の書類（原本）を添付してください。
 - ① 日本語または英語による翻訳
 - ② ①の翻訳証明（大使館等公的機関による証明。または日本語学校・翻訳会社による学校・会社の公印が押された証明）。

【博士前期課程志願者】

- ・ 最終出身大学学部の履修した科目のすべての成績が記載された「成績証明書」、「卒業（見込）証明書」および「学士学位証明書」を提出してください。
- ・ 大学院を修了（見込）している場合は、大学院の「成績証明書」、「修了（見込）証明書」および「修士学位証明書」を併せて提出してください。
- ・ 出身大学より手配を行ってください。
- ・ 卒業見込および修了見込の場合、学位証明書は不要です。

【博士後期課程志願者】

- ・ 最終出身大学院の履修した科目のすべての成績が記載された「成績証明書」、「修了（見込）証明書」および「修士学位証明書」を提出してください。
- ・ 出身大学院より手配を行ってください。
- ・ 修了見込の場合、学位証明書は不要です。

※改姓している方は、戸籍抄本等、改姓が確認できる証明書を提出してください。

※東洋大学の学部（通信教育課程・短期大学を除く）から大学院へ進学する場合、ならびに東洋大学の大学院博士前期（修士）課程から博士後期課程に進学する場合は、入学金が免除となります。その証明として、東洋大学が最終学歴でない場合も、必ず東洋大学の卒業・修了証明書を提出してください。

※編転入をしている場合は、最終出身大学の成績証明書・卒業（見込）証明書だけでなく、編転入前の大学の成績証明書・在籍期間がわかる書類（成績証明書に在籍期間が記載されていれば不要）も併せて提出してください。

※提出された各証明書の発行大学・大学院に証明内容の照会をする場合があります。

(7) 英語の学力を証明する書類（出願時点から3年以内のもの、原本）

下記のいずれかの原本を提出してください。なお、提出された原本は試験当日に返却します。

- ・ TOEICの公式スコア（公式認定証、デジタル公式認定証）
- ・ TOEIC 団体受験制度（TOEIC-IP）のスコアレポート（個人成績表）
- ・ TOEFL iBT の受験者控えスコアレポート
- ・ TOEFL 団体向けテストプログラム（TOEFL ITP）のスコアレポート（受験者用控え）
- ・ 実用英語技能検定の合格証明書

(8) 修士論文・論文要旨等【博士後期課程志願者のみ】

修士論文の写し1部および論文要旨(A4判2枚程度)1部を提出してください。修士課程在学中の場合には研究内容の要旨(A4判2枚程度)を提出してください。修士論文がない課程を修了した場合は、修士論文に相当する研究業績を提出してください。論文要旨ならびに研究業績は日本語または英語を使用してください。なお、論文等も提出書類の一部ですので返却はいたしません。

(9) 日本語能力に関する証明書

【海外の大学・大学院を卒業(見込)または修了(見込)の外国籍(※)の志願者のみ】

日本学生支援機構が実施している「日本留学試験(日本語)」(記述を除く)において320点以上の取得が出願要件となります。出願締切日より遡って2年以内に受験した試験の得点を対象とし、出願締切日まで結果が出ている1回分の「成績確認書」(コピー可)を提出してください。

日本留学試験の成績結果は日本学生支援機構に照会します。

- ・8月入試：2024年度 第2回、2025年度 第1回、第2回 の試験結果(記述を除く)のうち1回分
- ・2月入試：2025年度 第2回、2026年度 第1回、第2回 の試験結果(記述を除く)のうち1回分

※日本国以外の国籍を有する者。なお、日本国内の大学・大学院を卒業(見込)または修了(見込)の志願者は、日本語能力に関する証明書は不要です。

(10) 在留カードの両面コピー【外国籍の志願者のみ】

- ・試験日まで有効な在留資格・在留期間が記載されているもの。
- ・在留カードの両面コピーは、両面の情報全てが見切れることなくコピーされていること。

※在留カードを更新中の場合は、更新中であることを証明するものとして、「出入国在留管理庁の申請番号・受付年月日・申請者名」を確認できる次の書類の提出が必要です。「出入国在留管理庁発行の申請受付票(コピー)」、「在留申請オンラインシステムの申請受付メール」、「日本語学校が代理申請したことを示す書類(コピー可)」のいずれかを提出してください。

(11) 出願書類チェックリスト

(1)～(10)の出願書類がすべて揃っているかの確認に使用し、郵送時には出願書類チェックリストを出願書類の一番上に重ねて封筒に入れてください。

■受験上の配慮の希望について
病気・負傷や障がい等(視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱、発達障がい等)のために、入学試験の受験に際して配慮を希望する場合(例:日常的に使用している補聴器の使用、松葉杖の使用、車椅子等を使用して受験すること、座席位置の配慮、試験時間に関する配慮等)は、試験会場設定や他の配慮内容との関係から、出願手続前の事前相談により、個々の症状や状態等に応じた配慮内容を協議のうえ決定します。配慮の希望がある場合は、必ず出願手続前に赤羽台事務課へご相談ください。

3. 入学検定料および納入

入学検定料…………… 35,000円

- (1) 入学検定料は、出願期間を確認し、その期間内に納入してください。
- (2) 入学検定料はインターネット出願登録後、最寄りのコンビニエンスストア(セブン-イレブン・ローソン・ファミリーマート・ミニストップ・デイリーヤマザキ・セイコーマート)、ペイジー(「Pay-easy」マークのある全国のゆうちょ銀行や各銀行等のATM)、ネットバンキング、クレジットカードで出願期間内に納入してください。
- (3) 入学検定料の納入の際には、入学検定料の他に決済手数料等が別途かかります。
- (4) 国内・国外を問わず、金融機関の窓口での取り扱いは行いません(海外から出願する際はクレジットカードをご利用ください)。また、大学窓口での受け付けも行いません。
- (5) 家族や知人が代理で手続をする場合も、必ず志願者本人の情報を入力してください。
- (6) コンビニエンスストアでの支払いは、土日・祝日問わず、営業時間内であればいつでも可能です。ただし、出願期間最終日のインターネット出願サイトでの登録は23:00までとなりますので、ご注意ください。
- (7) 出願期間内に入学検定料の納入が完了しても、出願書類の消印が出願期間最終日を過ぎている場合は、受験できません。
- (8) 入学検定料収納証明書(領収書等)は必ず保管してください。収納証明書、領収書等のコピーを送付する必要はありません。
- (9) 一旦納入された入学検定料は事情の如何にかかわらず返還いたしません。ただし、返還対象の①、②、③のいずれかに該当する場合は返還の対象となります。返還を希望する場合は、申請期間中に手続きを行ってください。

<返還対象>

- ①入学検定料を納入したが、出願書類を郵送しなかった場合。
- ②入学検定料を納入して出願書類を郵送したが、書類に不備等があり、出願が受理されなかった場合。
- ③大学が受験を認めなかった場合。

詳しくは、本学 Web サイト (<https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/return/>) をご確認ください。

4. 出願書類の提出

- (1) 出願手続の流れは、次の URL (<https://www.guide.52school.com/guidance/net-toyo-gs/>) をクリックし、「東洋大学大学院 2026/2027 年度インターネット出願ガイダンス」のページをよくお読みください。
- (2) 出願書類一式は「書留・速達」で郵送してください（消印有効）。郵送以外の提出は受け付けません。
- (3) 封筒は市販の角 2 号（出願書類を折らずに封入できるサイズ）を用意し、所定の封筒貼付用宛名シートを表面にしっかりとのり付けしてください。レターパックは、宛名シートが貼付できないため使用しないでください。
- (4) 出願書類一式が角 2 号封筒に入りきらない場合は、封入可能な封筒あるいは箱等を用意し、所定の封筒貼付用宛名シートを表面にしっかりとのり付けして、郵送してください。
- (5) 封筒に封をする前に必要書類が全て揃っているかを「出願書類チェックリスト」で必ず確認してください。
- (6) 必ず入学検定料を納入した後、郵送してください。出願書類が郵送されても入学検定料の納入がない場合、または入学検定料が納入されても出願書類の消印が出願期間最終日を過ぎている場合は、受験できません。

5. 注意事項

- ・「英語の学力を証明する書類」以外の出願書類、及び入学検定料は、返還いたしません。
- ・出願後の研究科・専攻の変更は一切認めません。
- ・出願書類に不備がある場合には、受理しません。
- ・出願書類に虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがあります。

6. 受験票の送付

- (1) 受験票は、出願者全員の書類審査が終了後、履歴調書に記載されたメールアドレス宛に送付します。受験票は各自で印刷し、試験当日に持参してください。
- (2) 試験日の 2 日前までに受験票が届かない場合は、最終ページのお問い合わせ先までご連絡ください。

受験上の注意事項

1. 試験会場について

- (1) 試験実施場所は **赤羽台キャンパス INIAD HUB-1（東京都北区赤羽台 1-7-11）** です。
 - (2) 試験会場は、試験当日、構内の立看板や掲示により案内いたします。
 - (3) **試験会場への集合時刻は、試験開始時刻の 30 分前です。** 集合時刻になりましたら、受験上の注意事項等について説明を開始します。（例：試験時間が「10:00 開始」の場合、集合時刻は「9:30」です。）
 - (4) 試験開始時刻に遅刻した場合、試験会場への到着が試験開始から 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
2. 試験当日は、「受験票」および「本人確認書類 (P. 13「受験生の皆さんへお願い」の 5.【本人確認について】参照)」を必ず持参してください。試験開始前に提示が必要となります。
 3. 試験会場では、すべて試験監督者の指示に従ってください。また試験会場において、他の受験生に迷惑となるような行為は禁止します。従わない場合は不正行為とみなし退室させることがあります。
 4. 受験者数により、二次試験開始時刻が変更となる場合があります。その際は、一次試験結果発表時 (P. 14) にお知らせします。
 5. 試験当日の昼食等は、必要に応じて各自でご用意ください。
 6. 試験会場に時計はありません。時計(時計機能だけのもの)を持参してください。携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチなどのウェアラブル端末、IC レコーダー等の電子機器類を時計代わりに使用することはできません。なお、時計の貸し出しは行っていません。
 7. 筆記用具の貸し出しは行っていませんので、必ずご持参ください。
 8. 試験会場および面接控室での携帯電話・スマートフォンの使用を禁止します。建物の入構前に電源を切ってください。
 9. 試験会場には駐車場・駐輪場がありませんので、自動車・自転車・バイク等での試験会場への乗り入れはできません。

試験当日、交通機関に乱れが生じている場合

1. 試験当日、台風の接近・雪などの天候不良や、事故・地震等により交通機関の乱れが生じている場合でも、まず試験会場に向かってください。本学では追試験・再試験は行いません。
2. 各試験会場への主要公共交通機関（バス・車を除く）の乱れなどにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないと大学が判断した場合に限り、試験開始時刻を遅らせることがあります。
ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。
詳細については措置内容が決定後、本学Webサイト (<https://www.toyo.ac.jp/academics/gstop/>) に掲載しますのでご確認ください。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験実施にあたり、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ等）の蔓延が確認された場合、関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合があります。また、感染症に罹患し治癒していない受験生が確認された場合、同じく関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合もあります。

なお、試験実施について措置がとられた場合でも、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

詳細については措置内容が決定後、本学 Web サイト (<https://www.toyo.ac.jp/academics/gstop/>) に掲載しますのでご確認ください。

受験生の皆さんへお願い

1. 試験会場での感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス等）の感染を防ぐため、必要に応じて各自マスクを用意してください。
2. 咳・くしゃみがでる方は、マスクを着用する、咳エチケットを守るなど周囲の受験生への感染防止に配慮してください。
3. 試験当日は、換気のために休憩時間中や試験中に窓やドアを開放することがあります。時間帯によって室温が大きく変化する場合がありますため、各自で着脱しやすく、体温調節が可能な服装を準備してください。
4. 感染症等の感染を防ぐため、必要な指示および措置を講じる場合は、決定次第、マイページにてお知らせします。
5. 【本人確認について】
試験当日は、受験者の本人確認のため「受験票」と「顔写真付きの身分証明書※」を必ず持参してください。
※顔写真付きの身分証明書：運転免許証、マイナンバーカード、パスポート、在留カード、または学生証
【ご注意ください】 試験当日に「顔写真付きの身分証明書」を提示できない場合は、受験を認めることができません。万一、有効な証明書の提示が難しい場合は、必ず事前にお問い合わせください。

試験時間中の注意事項

1. 受験票等所持品の扱い

- (1) 「受験票」は必ず机の上に置いてください。
- (2) 「受験票」の他に試験時間中、机の上に置けるものは、「黒鉛筆」「シャープペンシル」「プラスチック製の消しゴム」「鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）」「時計（時計機能だけのもの）」「眼鏡」です。「飲食物」は、かばん等の中に入れてください。
- (3) 「下敷き」「そろばん」「電卓」「グラフ用紙」「定規」などの用具は使用できません。
- (4) アラーム機能のついた時計は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除してください。
- (5) パソコン、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチなどのウェアラブル端末、IC レコーダー等の電子機器類は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切つかばん等に入れておいてください。試験時間中にこれらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると、不正行為とみなされることがあります。アラームは、設定を解除しないと電源を切っても鳴ることがありますので、注意してください。なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチなどのウェアラブル端末等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を教室外に持ち出し、実施本部で当該試験時間終了まで保管します。
- (6) 「耳せん」は、試験監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、使用できません。

- (7) 試験教室内で、「英文字」「地図」「格言」等がプリントされている衣服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- (8) 「ハンカチ」「ティッシュペーパー」「座布団」「ひざ掛け」「目薬」の使用を希望する者は、試験監督者に申し出て許可を受けてから使用してください。

2. 解答上の注意

指定された科目等以外での受験は認めません。また、出願した入試方式において、必要なすべての科目・面接等を受験していないと、失格となります。

3. 試験時間中の退室

試験時間中は試験終了までは退室を認めません。試験中の発病またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験監督者の指示に従ってください。

ただし、一時退室が認められた場合でも、一時退室した分の試験時間の延長は認められません。

4. 試験時間中の試験監督者の指示

試験時間中は、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為とみなし失格となり、退室させることがあります。なお、その場合における入学検定料返還の求めには応じません。

5. 不正行為

次の行為は不正行為となることがあります。不正行為となった場合は、それ以降の受験はできません。

また、既に受験した科目の受験も無効となります。なお、その場合における入学検定料返還の求めには応じません。

- (1) カンニング（カンニングペーパー・参考書・使用が許可されていない辞書・他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- (2) 「下敷き」「そろばん」「電卓」「グラフ用紙」「定規」など、使用を禁じられた用具を使用して問題を解くこと。
- (3) 試験開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
- (4) 試験終了の指示に従わず、筆記用具や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。
- (5) 試験時間中に、出題内容、あるいは解答を教えるなど他の受験生が有利となるような行為をすること。
- (6) 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチなどのウェアラブル端末等を身に付けていること。
- (7) 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチなどのウェアラブル端末等や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
- (8) 試験会場において他の受験生の迷惑となる行為をすること。
- (9) 試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (10) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- (11) 不正行為が認められた場合、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

6. その他の注意事項

- (1) 試験時間中に監督者が受験者の顔の確認を行います。「マスク」等を着用している場合、本人確認のため、一時的に外すよう指示をすることがあります。
- (2) 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。
- (3) 机・椅子・空調等の試験教室による相違は一切考慮しません。

一次試験結果発表

1. 一次試験の結果は、一次試験当日の15時（午後3時）までに、履歴調書に記載されたメールアドレス宛に通知します。
2. 合否についての問い合わせには、一切応じません。
3. 二次試験は、「一次試験合格者」に対してのみ実施します。

合格発表・入学手続

1. 合格発表

- (1) 「マイページ」内の「合否結果」で、合格発表日の11:00から合否確認ができます。
- (2) 「合格通知書」は、「マイページ」よりダウンロードできます。必要に応じ、印刷してください。
- (3) 合否についての問い合わせには、一切応じません。

2. 入学手続

- (1) 合格者は、「マイページ」内の「入学手続のしおり」(PDF)に従い、指定した入学手続締切日までに以下の手続を行ってください。
 - ①納付金を納入
 - ②オンライン入学手続
- (2) 入学手続締切日までに上記(1)の手続が完了していない場合は、当該合格者に入学の意思がないものとみなし、締切後の入学手続は一切受け付けません。詳しくは「入学手続のしおり」をご確認ください。
- (3) 納付金の内訳については、P.16「納付金」をご確認ください。
- (4) 納入した入学金(入学申込金)は、「東洋大学大学院の合格した研究科・専攻に入学し得る地位を取得するための対価」としての金員であるため、事情の如何にかかわらず返還しません。また提出した書類は返還しません。
- (5) 東洋大学教育ローンをご希望の方は、P.17をご覧ください。

在留資格

本学に入学を許可された外国人学生は、「留学」の在留資格を申請することが出来ます。ただし、大学が指定した期日までに、有効な在留資格を取得していない場合には、原則として入学できません。なお、「短期滞在」の在留資格で本学に入学することはできません。詳細については、出願前に必ず本学 Web サイトをご確認ください。

https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/zairyu_shikaku/

長期履修制度について

長期履修制度とは、博士前期課程において職業(勤務の都合)や、育児、親族の介護のため、標準修業年限(2年)で修了することが困難である場合、標準修業年限を超えた一定の期間(長期履修期間)にわたり計画的に教育課程を履修することを可能とする制度です。長期履修期間は、3年です。なお、外国人留学生は申請することができません。

大学院入学前に所定の手続が必要になります。長期履修制度の申請期間は以下のとおりです。詳しくは本学 Web サイトをご確認ください。

<https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/long/>

【申請期間】

4月入学予定者	8月入試合格者	当該年度2月入試の出願期間
	2月入試受験者	当該入試の出願期間
秋入学予定者		当該年度8月入試の出願期間

授業料後払い制度について

2024（令和6）年度から大学院修士段階（博士前期課程）の進学者を対象とした「授業料後払い制度」が国により創設されました。本制度は在学中の授業料を国が立て替え、大学院修了後、所得に応じて返還することで、授業料を「後払い」とする仕組みです。

本制度の利用については家計基準等の条件を満たす必要があります。出願時に所定の手続を行ってください。また、入学後に申請を辞退された場合や、申請後に不採用となった場合には、本学が指定する期日までに授業料を納付していただく必要があります。期日までに納付の確認が取れない場合は、除籍となりますのでご注意ください。

詳しくは本学Webサイト(https://sites.google.com/toyo.jp/daigakuin_joho/gs-index1/JASSO#h.haz6c4dqwc6d)を確認してください。

納付金

以下の金額は納入予定額のため、変更となる場合があります。

(単位：円)

研究科			学費			計
			入学金 (入学申込金)	授業料	一般施設 設備資金	
情報連携学研究科	博士前期課程	本学出身者※	—	550,000	250,000	800,000
		他大学出身者	270,000	550,000	250,000	1,070,000
	博士後期課程	本学出身者※	—	550,000	200,000	750,000
		他大学出身者	270,000	550,000	200,000	1,020,000

※本学の学部（通信教育課程・短期大学を除く）から大学院に進学する場合、入学金は免除となります。

※本学の大学院博士前期（修士）課程から大学院博士後期課程に進学する場合、入学金は免除となります。

1. 入学金(入学申込金)の納入は初年度のみです。
2. 納付金は、全額一括納入(全納)と、授業料・一般施設設備資金を年2回に分けて納入する分割納入(分納)を選択することができます。
3. 納入した入学金(入学申込金)は、「東洋大学大学院の合格した研究科・専攻に入学し得る地位を取得するための対価」としての金員であるため、事情の如何にかかわらず返還しません。また提出した書類は返還しません。
4. 長期履修制度の納付金等の詳細は、本学Webサイトをご確認ください。

入学手続後の入学辞退と納付金の返還について

本学への入学手続を完了した後に、やむを得ない理由により入学辞退を希望し、期日までに本学が定める手続により届出をした者には、入学辞退を認め、入学金(入学申込金)を除く納付金を返還します。

詳細については、「入学手続のしおり」をご確認ください。

【2026年秋入学生】

提出期限：2026年9月15日(火)

返還予定日：届出のあった月の2ヶ月先の末日

【2027年4月入学生】

提出期限：2027年3月31日(水)

返還予定日：届出のあった月の2ヶ月先の末日

問い合わせ先：経理部財務課 E-mail: mlgakuhi@toyo.jp

東洋大学教育ローン

本学では、入学予定者を対象に、金融機関との提携による「東洋大学教育ローン」制度を設置しており、入学金、授業料、実験実習料等の納入のためにご利用いただけます。東洋大学で学ぶ意志がありながら、経済的理由により就学が困難な学生に対して、入学時の経済的負担を軽減することを目的としています。

なお、本制度は東洋大学へ確実に入学する方が対象となります。また、「東洋大学教育ローン」制度は、銀行ローンですから、確実な返済計画を立てたうえでお申してください。

内容の詳細は、以下の提携先金融機関にお問い合わせください。

【提携先金融機関】

三井住友銀行

問い合わせ先: ネットローンプラザ 電話: 0120-338-555

楽天銀行

問い合わせ先: 教育ローン専用ダイヤル 電話: 0120-61-6910

提携校コード: TYU00074 申込コード: 1001

情報連携学研究科情報連携学専攻入学試験結果

【情報連携学研究科情報連携学専攻入学定員】

- ・ 博士前期課程：20名
- ・ 博士後期課程：4名

2025年8月実施入試

(名)

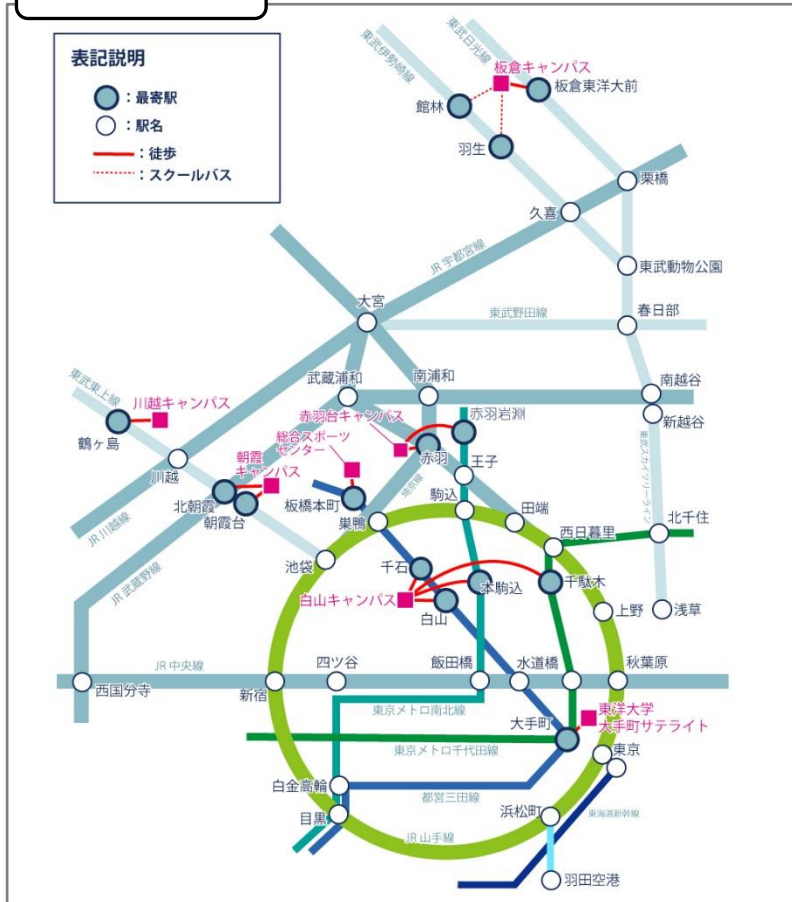
入学時期	試験結果			
	博士前期課程		博士後期課程	
	志願者	合格者	志願者	合格者
2025年秋	1	0	0	0
2026年4月	10	9	0	0

2026年2月実施入試

(名)

入学時期	試験結果			
	博士前期課程		博士後期課程	
	志願者	合格者	志願者	合格者
2026年4月	11	3	0	0

交通アクセス



赤羽台キャンパス案内



交通案内

赤羽台キャンパス INIAD HUB-1
〒115-8650 東京都北区赤羽台 1-7-11

- JR「赤羽駅」西口出口から徒歩 8 分
- 東京メトロ南北線「赤羽岩淵駅 (N19)」 / 埼玉高速鉄道「赤羽岩淵駅」2 番出口から徒歩 12 分

【情報連携学研究科の入試に関するお問合わせ】

東洋大学 赤羽台事務課 情報連携学研究科担当

TEL. 03-5924-2600(代表) (受付時間 月～金曜日:10時～13時、14時～16時)

E-mail: ml-iniad-em@toyo.jp

URL <https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/akabanedai/>